

細胞外小胞振興議員連盟について

1. 細胞外小胞振興議員連盟の目的

- 現在、世界の再生医療の中で次の時代をリードする新たな革新的な素材に細胞外小胞(以下、エクソソームと言う)がある。人体のあらゆる細胞から抽出するエクソソームは生命維持に欠かせない物質であり、臓器・組織を構成する細胞にメッセージを伝達するといった特徴があり、多くの疾患を治療する創薬への期待がもたらされている。エクソソーム中に存在するマイクロRNAを解析することで、病気の診断、治療への道程を築くことが可能であり、その経済的市場は無限大である。そして、エクソソームを知る、診る、測る、集める技術、すなわち、エコシステムが新たな産業を生み出し、日本経済をけん引していくプロジェクトへと結実することを目的とする。
- 一昨年6月7日、我が国の新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画(2022年6月閣議決定)中に、エクソソームの創薬新規プラットフォームが描かれた。エクソソームの病気の診断や治療への活用に向けた研究開発等、革新的な研究開発を進める、との明記である。我々本議員連盟は、エクソソームの振興を図ることにより、①すべての国民が等しくエクソソーム薬を享受できる社会を構築し、生活の質の向上とより豊かな人生を送れるようになること、②またそれにより我が国の新イノベーションの創出、雇用の創出、税収の拡大、そして経済の発展に資することを目的とし、政策提言に向けた活動を行う。

2. エクソソーム振興議員連盟の議題・三本柱

(1) ガイドラインの構築

- 現在日本国内にて、幹細胞由来培養上清(試薬)投与が多くのクリニックで自由診療下のもと行われているが、培養上清(試薬)の質については多種多様で課題が多くある。本議連は、患者へ投与の際に事故が起こらないよう、培養上清(試薬)の各生成工程やクリニックで投与する際のガイドラインの構築を行う。

(2) あらゆる薬を凌駕するエクソソーム創薬の実現と日本経済の起爆剤としてのエクソソーム

- 現在エクソソーム治療は再生医療新法の中に位置づけられておらず、幹細胞治療とは大きく異なる。エクソソーム薬はあらゆる薬を凌駕する可能性があり、いち早く法体系を整える必要があることから本議連は法整備を進めていく。
- 国内にはエクソソーム創薬を実現するための大学・企業・研究所等多くの機関が存在し、これらの各モチベーションを触発し、連携させることで、大きな歯車が回転、日本経済の起爆となる。本議連はエクソソームエコシステムを組成するこれらの各機関が円滑に歯車を回転させることが出来るよう、開発支援の拡充を進めていく。

(3) エクソソーム創薬で未病、健康寿命の延伸、社会保障費の抑制と、家族の負担の軽減を

- 人生100年時代の現在、最後まで家族の支えなく元気で過ごしたいものである。エクソソーム創薬を活用し、未病の推進と健康寿命の延伸に寄与させていく。これらを進めていくことで、拡大し続ける社会保障費を抑制し、更には家族の負担も軽減する。本議連はこのことを目指し、エクソソーム振興・推進に国を挙げて取り組む。